

[題材名：体で感じよう！（ボディソニック）]



～エアーマットで～



～圧縮袋(大)で～



～圧縮袋(小)で～



～風船で～

ねらい	<ol style="list-style-type: none"> (1) 全身や体の部位で音や音楽の振動を直接感じる。 (2) 活動をとおして、友達や教師とかかわる。
準備物・方法	<ol style="list-style-type: none"> (1) 音源；ステレオ〔スピーカー（サイズ多種）、長いスピーカーコード〕、音楽ソフト、打楽器 (2) 振動を伝達する教具；セラピーマット、エアーマット（キャンプ用）、空気を入れた圧縮袋（サイズ多種） (3) その他；テーブル等
指導の工夫	<ol style="list-style-type: none"> (1) スピーカー → 振動を伝達する教具 → 児童生徒 (2) 全身で味わう場合は、横になれる広さを確保し設置する。 大スピーカー・テーブル・大圧縮袋（布団用） *無理な姿勢、落下、圧縮袋の急なエア抜けに十分注意する。 (3) 体の各部位は、その場所によって大きさを選択する。 小スピーカー・小圧縮袋または風船 (4) ビニール袋等に空気を入れた物が振動が伝わりやすい。 (5) 音源は、効果音や好みの楽曲などで表情の変化を観察できるが、低音の効いた音楽は、振動が大きく刺激が確実に伝わっていた。 (6) 振動を受けて心地よい部位などが児童生徒によって異なるのが分かる。 <p>※ エアートランポリンを使って振動を伝えたこともあったが、送風機の音が大きく、邪魔な刺激となっていたので別な物を考えた。</p>

